

令和3年度第1回市川町総合戦略会議録

会議名	第1回市川町総合戦略会議
開催日時	令和3年7月5日(月) 13時30分～15時30分
開催場所	市川町役場4階 相談室
出席者	委員：小野康裕、前田盛雄、小橋浩一、村上和男、北尾政憲 長尾克洋、楠田一利、岩木和子、木村重己、澤田克彦 吉本晃司 町：岩見町長、藤原副町長、内藤企画政策課長、近藤地域振興課長、 藤後課長補佐、柴田主事
会議の議題	1 開会 2 あいさつ 3 協議 （1）令和2年度実施事業及び評価改善等について （2）令和3年度新型コロナウイルス感染症関連事業について 4 閉会
会議資料	【事前配布分】 ・会議次第 ・市川町総合戦略進捗管理シート ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施計画 【当日配布分】 ・令和3年度総合戦略会議委員名簿 ・座席表 ・チラシ（ゴルフまつり他）
協議	3 協議 （1）令和2年度実施事業及び評価改善等について （2）令和3年度新型コロナウイルス感染症関連事業について
事務局	・第2期市川町総合戦略進捗管理について、事業をピックアップして説明 ・令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施計画について1～19まで説明
委員長 委員	前後するが、コロナの感染症対策に関する方のご質問や意見を。 7番、ワーケーションの環境整備ということで、リフレッシュパーク市川を都会の方にPRをしていく必要があると思うが、どんな整備をして、どんな方をターゲットに、どんなPRをされようとしているのか、そのあたりの計画があれば教えてほしい。
地域振興課長	市川町から神戸や大阪、姫路に通勤されている方でテレワークされている方、家では仕事がしにくい方がおられたら利用していただけたらと考

<p>委員長 地域振興課長</p>	<p>えている。町内の方でも町外の方でも利用してもらいたい。リフレッシュパーク市川で、チェックアウトからチェックインまでの空き時間を利用して、テレワークで利用していただけたらというところから、こういったことを考えている。</p> <p>テレワークは無料なのか。</p> <p>料金は設定している。町内の方は1000円、町外の方は2000円という設定。</p>
<p>委員長 地域振興課長</p>	<p>需要としてはどんな感じか。</p> <p>今はまだ机や椅子、モニターなどの発注しているところ。まだ始まっていないので分からない。</p>
<p>委員長</p>	<p>いずれにしてもこういうものがなければならぬ時代になっているから必要だとは思う。ただ需要の有無については分からない。</p>
<p>委員</p>	<p>学校とか子ども園とかのコロナの感染対策の補助で、規模はそれぞれ違うと思うが、一律の給付できっちり手立てができるのか。柔軟な財政措置を取っていただく方がいいと思うがその考えは。</p>
<p>事務局</p>	<p>ここにある事業は、文科省や厚労省の事業であり、一律の金額で決まっていると思う。ただ実際生徒数や児童数は違うので、教育委員会で別に予算を持っておく必要があるとは思う。</p>
<p>委員</p>	<p>そういうところにご留意いただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>10番の避難所の環境整備事業について、新しく避難所が指定される、そこに設置するという意味なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新たにその避難所を設置するというものではなく、今ある一時避難所として開けていただく所で、照明等が不十分な箇所の整備をしていくというもの。</p>
<p>委員</p>	<p>7番、ワーケーションの環境整備の件で、利用時間は何時間ぐらいなのか、同時に何人あるいは何組が使えるのか。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>中広間、大広間などで分けており、半日単位か1日単位か、ということにしている。また利用については、人数ではなく部屋での貸し料金となっている。</p>
<p>委員長</p>	<p>同じところの質問で、夏休みとかはリフレッシュパークの宿泊が昨年非常に人気があったが、ワーケーションを推進して対応できる部屋数とか場所が確保できるのか。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>あくまでチェックインチェックアウトの空いている時間であり、対応できる見込み。</p>
<p>委員長</p>	<p>ワーケーションするには非常に中途半端になりそうな感じがする。というのは、以前ホテル業界の方と話したときに、テレワークで部屋を貸している部分の稼働率が非常に悪いと言われていた。土曜日・日曜日は埋まる場所まではいかないくらいだが平日は全然、という話も聞いたので、相当アピールしていかないと、なかなか需要が少ない事業になるのではないかと思う。ただ、こういう設備は整えておくべき時代なのだろうとも思う。他になければ、協議の(1)の方に戻ってそれぞれのご意</p>

<p>委員</p>	<p>見をお伺いしたい。</p> <p>当初からこの戦略会議に関わっており、いろんな部署がいろんな知恵を出しながら、地域の活性化や人口減少の抑制のために取り組んできたが、前回の人口の報告では、残念ながら人口の減少が進んでいる。その中で、何点かお願いとお尋ねをしたい。まず2番の情報発信拠点の整備活用について、再度のお願いになるが、構想とか意図は賛同できるが、実際にこれを運用していくということになると、やり方、取り組みしだいでは普通のトラックになってしまうという危惧もある。令和3年度、このトラックをどう活用していくか、いろんな課から知恵をもらいながら、いろんなところで活躍できるようなトラックにさせていただけたらと思う。それと笠形オーガニックの件で前々からお願いしているが、K P Iの一つでもある移住者というところで、これまでそこそこ移住者は来られている。しかし上牛尾地区に提供できる空き家がないことが一つのネックになっている。総合戦略、それから笠形オーガニックのK P Iで年間1件でも移住者を増やそうという取り組みをしても、その受け皿がないと進まない。副町長にこの話をしたときは、市川町全体で考えていきたいというお話はいただいた。上牛尾地区に活用できる空き家があれば、そこに入れていただける可能性が十分あるので、できるだけそちらの方も優先して空き家の活用をお願いしたい。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>1点お尋ねしたいのが、10番、6次産業化の取り組みの推進で150万の予算が上がっている。この150万は、町から笠形オーガニックへの補助金だと思っているが、13番でオーガニックタウンを目指し有機農業や産業の支援ということで740万予算上がっている。この分は何の費用なのか。10番はあくまで6次産業化の町単独の補助金。シロップであるとかいろいろ取り組みをしていたが、仕上がってはいないのでこの補助金は出していない。13番の実績額を5906に訂正をお願いしたい。この内訳は、町からの補助金200万円と地域おこし協力隊の経費。</p> <p>移住者の空き家については、売買はあっても賃貸はしないと言われる人が多い。また、どう運営しようとしているのかは分からないが、最近ある方が買い占められている。そのため、空き家は実際にはあるが、その人を通さないと借りられないので、どうしても高額になってしまうといった支障が出ている。</p>
<p>委員</p> <p>企画政策課長 委員 企画政策課長</p>	<p>鶴居駅の公衆トイレの関係で、窓口に目の不自由なお客さんが来られて、「いいトイレができたが私のような目の不自由な人は使いにくい」ということを言われた。点字ブロックがあればいいのかなと思う。対象者が多いわけではないが、そういう方も利用されているので、前向きに考えていただければ。</p> <p>対策は必要だと思う。福祉担当と協議していく。</p> <p>身障者用はあるのか。</p> <p>多目的はあって、車椅子で入れるようにはなっているが、目の不自由な方への配慮はできていなかった。</p>

委員長	どこまで配慮するのも難しいと思うが、やはり必要なことは必要として、やるべき時代だと思う。できるだけ検討の方向でお願いをしたい。
企画政策課長	改札の方のスロープからトイレへの動線はできている。トイレ部分を点字ブロックにするのであれば、駅側のJRの土地の部分も合わせてできるよう協議を進めていきたいと思う。
委員	県としては、市川町にはゴルフを中心にPRを頑張っていたきたいと思うが、この総合戦略も見ると、例えば2番とか3番、さらにスポーツ、教育、福祉とか多岐にわたってゴルフが組み込んである。そこで、コロナのように別紙でとは言わないが、例えばゴルフ関連だけを固めて冒頭に持ってくるようなことをすると、市川町の中で、ゴルフ関連でこれだけの予算を通じてこれだけの計画をしている、というのが一目でわかると思う。この通し番号は計画に沿って並んでいると思うが、町としてゴルフをPRしていく思いを見せるには、そういう分類の仕方もあるのではないか。認知症対策にゴルフを活用するようなことは、多分他にはないことだと思うので、スポーツやイベントだけではなく、子どもの教育、福祉の関連もゴルフを通じてしていく、そういったところを上手くPRされればいいのかと思う。その1つとして、こういう進捗管理も固めておけば、各課の横の連絡にも使えるのではないか。
委員長	確かにそうだと思う。市川町として何を指すのかがはっきりとした総合戦略は必要だと思うし、そのために何をやるのかという目標がないと訴える力がない。ぜひともその部分は強調していかれることを希望したい。
委員	19番、チラシにある通勤費用の支援について、50キロ以上となっているが、前に出たデータでは姫路方面に通勤されている方が多かったと思う。申請が9月からなのでまだ始まっていないが、本当にこの50キロで若い人たちを引き止める効果が出せるのかどうか、これからフォローが必要。ホームページだけのPRになっているが、高校や大学から就職するタイミングでこういうことを知っていたら、アパートを借りる前に通おうとなるかもしれないので、いかにアプローチしていくことができるか、1つの課題かなと思う。その辺についてお考えがあればお聞きしたい。
事務局	今現在市川町にお住まいの方で通勤されている方を念頭に制度を作っていたが、今後就職していく大学生や高校生を対象にしたPRにも努めていきたいと思う。また、距離については比較的遠方まで通勤されている方を対象としているが、町の財政状況も見ながら、広く薄くするのかどうか、これについてはいろんな考え方があるので、申請状況を見ながら検討の余地はあると思っている。
副町長	キロ数については、どの辺で区切りをつけるのか、JRの影響を考えるのかも含め、いろいろ意見はあった。いろいろあったが、申し込みの状況を見ながら、これは柔軟に考えていけると思う。
委員	私はこの3月に神崎支局長に着任してきた。市川町からイベントのPRの告知を受けるときは、支局にファックスが届く。神戸新聞以外のテレ

<p>企画政策課長 委員</p>	<p>ビなどのメディアや全国紙には、どういうPRの仕方をされているのか。すべて同じようにFAXでお送りしている。</p> <p>例えばテレビ局には局に1枚だけなのか。局に送るのではなく、番組宛にファックスを送ると、確実に担当者にFAXが届くと思う。今市川町はゴルフで注目されている時期で、おそらくテレビ局も何かできないかと考えている千載一遇のチャンスだと思う。新聞よりもテレビの方が影響力が大きいので、メールでもファックスでも番組ごとの担当者にFAXを送っていただく方がいいのではないかと。また、新聞社もテレビ局も最近ではネットでPVを集める手法をとっているところが多く、何が受けるのかというと、有名スポーツ選手や芸能人の名前が出てくると急激にPV上がる。FAXやメールを送るにしても、具体的に誰々が全米の大会で優勝した、ということを一言加えるだけで、かなり注目度が上がってくるので、文面的にも工夫されたいと思う。</p>
<p>企画政策課長 委員長</p>	<p>確かに今は、テレビ局の代表宛に一斉にFAXを送っているのだから、番組単位で情報提供していくのは効果が期待できる。今後取り組んでいきたい。</p> <p>まず9番、農業体験教室等の開催で、評価改善点等の欄に、有機農業体験を通じて有機農業を広めていきたいと書いてある。有機農業と一言で言ってもアバウトな話なので、何をどこへどう広めたいのか見えないというのがまず1点。</p> <p>それから11番、耕作放棄地の活用のところ、評価改善点等の欄に、「計画値には届いていないが、耕作放棄地が解消されると景観が良くなるので支援したい」とあるが、これから人口が減っていく中で、どこでも耕作放棄地の解消を支援していくべきなのかどうか考えないといけないと思うが、この辺の線引きについて何かお考えをお持ちなのかどうかを。</p> <p>それから12番、農振の見直しが令和4年、どういう見直しを考えていらっしゃるのか、この3点についてお伺いしたい。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>まず9番、有機に関しては、牛尾さんという有名な方がいらっしゃるのだから、牛尾さんに教わりたくて来られる方がいらっしゃる、その取り組みを広げたいということ。同じ瀬加地区でも、有機に取り組みたいと仰る営農も最近出てきている。何をどう広げるのか具体的なものは無いが、有機農業をすることによって移住定住につなげたい。11番については、基本的にどんな農地であっても、本来農地法の中で農地として活用しないといけないと謳われている。耕作放棄地はあってはならないが、どうしても山あいや日が当たらない所は、放置されているところがあるが、たとえ幾らかでも耕作放棄地を解消したいという思いから、こういう事業に取り組んでいる。人口減少の中でという話があったが、人口が減少しても耕作放棄地を出してはならないと思うので、農業委員会の観点からも、耕作放棄地を解消したいという思いで取り組んでいる。また農振の見直しについては、平成30年度に大きな見直しをしたので、今回は漏れた箇所や農用地から外すべきと思われるところを修正するなど、大き</p>

委員長	<p>な見直しにはならないと思っている。</p> <p>農振に関しては、移住定住促進や市川町出身の方が住宅地を確保できるような方向で見直しを。この辺は戦略を持ってほしい。耕作放棄地についてもおっしゃることはよく分かるが、予算にも人手にも限りがある。要不要の判断はできないが、ある程度のビジョンは必要だと思うし、そのビジョンに沿って優先順位を考えるべきではないかと思う。もう1点の有機農業に関しては、有機農業と一言で括ってしまっても幅広い。今の話では、一般家庭菜園ではなく、笠形オーガニックに関する有機農業を広めたいということによろしいか。</p>
地域振興課長	<p>はい。一言で有機農業と言ってもそんな簡単ではないと思うので、やはり先駆者がいる上牛尾を中心に広げていきたい。</p>
委員長	<p>有機農業で移住者が来られて、7番の農業を目指す人たちは目標達成をしているが、一方で13番の評価改善点では、新規就農者は資本金がほとんどなく、1万、2万円でないとな家が借りられないと書いてある。1万円2万円の支出ができないと、なかなか農業を事業として始めるのは厳しい。オーガニックと移住定住の部分は、切り離して考えた方がいいのではないか。</p>
地域振興課長	<p>確かに1万円2万円の家賃が支払えない方は食べていけない。先日、人・農地プランの作成について、農林水産省からインタビューをさせていただきたいということで、リモートで会議をした。その時に農林水産省の方に、7番の新規就農者支援事業で、簡単に農業を始めるとお金をもらえるこの施策自体問題があるのではないかと申し上げた。これまで農業で頑張ってきた方、農地を守ってきた方により手厚い補助制度を設けるべきではないかと思っている。例えば、農機具の更新について言えば、メニューはあるが要件が厳しく、なかなか補助対象にならない。</p>
委員長	<p>新規就農の補助金をもらって新規就農した人のうち、何人が継続して農業で食べて行けるのか考えると、こういうところに手厚くするのではなく、現在農業されている方に手厚い補助メニューを作っただけだったらと思う。有機を簡単に考えるわけではないが、たまたま市川町には牛尾さんという方がおられるので、そこへつなげてきていきたいという思いはある。</p>
委員長	<p>有機農業は、外へ訴える力をかなり持っている言葉だと思うし、内容によってはマイナスになったりプラスになったり、幅のある部分じゃないかと思う。今、世界的に有機は注目を浴びてきており、有機、オーガニックを市川町の施策の一つとして出すのであれば、方向性の違うオーガニックや有機である方が、定住促進には繋がっていきやすいと感じる。</p>
委員	<p>今のオーガニックの形でいくと、身近な所へ行ってするというような移住者が中心になっている気がする。この辺はやはり戦略が必要ではないか。特にオーガニック関連は、男性よりも女性に人気の高い部分なので、女性の意見は移住定住に関して大きな力になると思う。</p>
委員	<p>千葉の方で、下校している児童のところへトラックが突っ込む事故があ</p>

	<p>った。市川町においても、各校区でもう一度、通学路の安全の再点検に取り組んでいただきたい。特に今、瀬加の道は拡張工事で危ない。それともう1点、子育ての部分で、若いお母さん達が公園に集まっておられるときに話を聞くと、子育てしながら働きたいが両立が大変だということをおっしゃられた。その中の1人の方が町内の企業にパートで勤められておられて、その企業の福利厚生がとてもいいと思った。産休、育休の後、同じ仕事の部署をきちんと確保してあって、正規の職員と同じように、職員旅行とかイベントなどにも分け隔てなく参加でき、働きやすいとおっしゃっていた。やはり子どもが小さいと、遠くへ働きに行くのはしんどいので、市川町にもっとそういう働く場ができたかなという話をした。二つ目はやはり子育てにはお金がかかるということをおっしゃっていた。それと三つ目は、どうしても子育ては女性に負担がかかる、女性が主に世話をしなくてはならないという男性の考えがあるということ。協力してもらいにくいと、皆さんおっしゃっていた。国の方では男性の育児休暇と言われているが、身近なところではまだ考えられないようだ。あと、市川町において、出産前から高校卒業までの切れ目のない支援をどうしていくのか、ということを考えていかなければならないと感じた。</p>
副町長	<p>確かに通学路については危険な場所もある。生徒が通ってくる地域によって構成も変わるので、毎年学校の方で通学路の見直しをしている。その時に安全は最優先で通学路を設定していると思うが、道路については改良の必要な部分もあると思うので、これからも対応していく。ただ道路工事の際の安全については、警備員をつけていない場合もあるのであれば、それは注意していきたい。</p> <p>それと子育てと仕事を両立できる企業が市川町にもあるというのは、非常に良い話。子育ては女性だけがすることではないが、なかなか難しい状況ではあると思う。それとお金がかかる、女性に負担がかかる、という話があったが、医療費も含めて高校までの切れ目のない支援について、考えてはいるが満足できる状況ではないということだと思う。その点について、ご意見として十分お聞きしておく。</p>
委員長	<p>これからどんどん人口が減る中で行政の運営を考えると、自治会の役割を見直す必要があるのではないか。役員が決まらないということが近々起こってくる。今の通学路の問題にしても、行政だけが一生懸命取り組んでいくということではなくて、新しい行政組織の思考力を高めていくことをしていかないと、行政組織の仕事もこれまで通りにはいかないと。これからはデジタルも活用しながら、情報の提供の仕方も、投資の仕方やするところも変わってくると思う。国の補助とか戦略にも関わってくる大きな話になるが、デジタルを活用してどう簡素化していくか、自治会をどう運営していくのか、これは戦略的に動かせる仕組みが必要になっていると感じる。</p>
副委員長	<p>最近ネットでのショッピングが増え、宅配業者が村の中にも頻繁に入ってくる。最近事故も起きた。何とか事故に繋がらないように、町から</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>か交通安全協会からか、宅配業者に啓発をお願いできないか。あるいは、電柱に「最徐行」とかの看板を貼ってはどうか。行政が安全のためにする、ということで、電柱を利用できないか検討していただけないか。それから、余談になるが、山本金物店の交差点のところのカーブミラーが非常に見にくいという話を聞いているので、改善の検討をお願いしたい。交通安全については、町や郡で交通安全対策に関して協議する場もあるので、その時に取り上げてもらうよう伝えておく。</p>
<p>副町長</p>	<p>山本金物店は現場を見てみないとはっきりしたことは言えないが、カーブミラーの取り付けの位置や数の問題もあるかもしれない。これはまた交通安全の担当課、建設課も含めて、検討させていただく。関電の電柱については、当然申請をしないと使用許可は下りない。関電との協議の場で、有料・無料については話として出していきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>交通の要所とならないと地域は自然発展しないし、自然発展させようとすると交通の量が増えるし、そのバランスをどうとるのが難しい。</p>
<p>委員</p>	<p>4番の起業創業の拡大支援の最後の評価改善等で、「補助金を店舗等の改修に充てるケースが多かったため、補助内容を精査する必要がある」と書いてあるが、これはどういうことか。基本的に創業ということは、新しく事業される方だと思うが、改修をされるということは、お店をすでにされていたところを改修されたということか。</p>
<p>地域振興課長</p>	<p>こう書いた意図が分からないが、個人的にはこの事業は、見直しをかけたいたいと思っている。前にも言ったと思うが、市川町はそれほど商売に向けた所ではないと思うが、こういう補助金があるから商売を始めて、借金がかさんで、という人が増えるのではないかという危惧がある。この事業は、起業してからある程度年数が経って、事業を拡大する時の補助金のメニューに変えていきたいなと思っている。先ほどの質問と答えが違ってくるが。</p>
<p>副町長 地域振興課長</p>	<p>個人の家を改修して、生活部分と混同するという話があったと思うが。それも棚田の関係の人だが、実際に自分が住んでいる家の改修のようなことがあった。それでも書類さえそろっていれば補助の対象になる。この事業に関して必要なのは、後追い調査。そういったこともあり、ある程度の実績を得て、この事業は一旦見直すべきではないかと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>市川町に限らず、起業創業される方はどこでもおられて、その時意気込みはあってもなかなかうまくいかないケースは多い。10件あったら1件上手くいくかどうかというような状況。補助金目当てというものは論外の話だが、補助金を有効に使っていただけるような環境を作るべきではないか。申請者にすると、補助金目当てで1年経ったらやめようと思っておられるわけではなく、いろんな状況によってうまくいなくて断念されるケースが多いと思う。こういうものは商工会や我々金融機関も同じで、当初の事業計画やいろいろな状況、自己資金など、きっちり精査すること、起業してからはしっかりモニタリングしていくことが必要だと思うのでお願いしたい。</p>

副委員長	<p>21 番、ふるさと意識、郷土愛の醸成に関して、市川町がいい所だということ町民が自覚できるような工夫をすることも必要だと思う。例えば市川 10 景とか。ふるさと、自分の町が自慢できるような景色、写真を募集して、どこかで発表するような企画があってもいいのではないか。自分の住んでいる所を見直して、素晴らしい景色、昔から守ってきている鎮守の森や保存樹、いわれのある神社仏閣、そういうものを発掘して、市川町の素晴らしい所を見つけてはどうかと思う。広報で紹介したり、メディアを利用して発表したりしていてもいいのではないか。</p> <p>あと、鶴居駅のトイレは整備されたが、ロータリーの部分のところは整備しないのか。</p>
企画政策課長	<p>まず見所の方は、探せば市川町にもたくさんあると思う。それを探そうという目で見るといいところも見えてくると思うので、そういう取り組みを考えていきたい。鶴居駅については、駅周辺整備基本計画に沿って、まず鶴居駅のトイレを最初に整備し、その後ロータリーと南の踏切の所からアクセスできるような南北に細長いロータリーを考えている。甘地駅の方も合わせて、優先順位をつけていながら整備していきたいと思っている。</p>
委員長	<p>市川町はゴルフアイアンの町で売り出していて、割と今いい時期になってきている。ゴルフアイアンは市川町を知ってもらうきっかけの仕掛けで、移住定住の促進については別の仕掛けが要るのではないか。別の仕掛けで何を前面に出していくのかは、総合戦略で考えるべきことだと思うし、打ち出していかなければ定住も移住もしていただけない。人が定住するのは、先ほど申し上げたように交通の要所で自然に発生するもの。市川町は、東には一応トンネルで開けているので、そういった方面の人をどうやって市川町の中に取り込んでいくのか、ということも戦略の中で必要ではないか。その中では、先ほどの交通の問題等々も出てくるとは思うが、甘地駅の無料駐車場に、町外の方の枠を設けて、特に八千代方面なんかにはアピールをしていけば、利用数はある一定得られるだろうと思う。新幹線に乗るために播但線から姫路駅というルートも考えられるので、甘地駅はいいアピールポイントになるのではないか。また、前にもお願いをしたことがあるが、高齢化の中でペットの需要が高まっていることから、ペットの骨が拾って帰れるというのも、やさしい、住みやすい、行き届いた市川町というものを打ち出していく一歩だろうと思うので、しっかりとその辺の議論をお願いしたい。</p>
委員	<p>お宝MAPを今活用しようと試みている。この中に、市川町 10 景なり 100 景なりあると思う。神社仏閣についてもあの中にたくさん資料があるので、あれをぜひ活用したいと思う。</p>
委員	<p>商売する者として、市川町が姫路から和田山へ行く通過点になってしまっていることが一番ネックだと思う。市川町の甘地駅周辺から文化センターの間まで、自転車などで行き来ができて、文化センターのところにゴルフアイアンの拠点を設けて、人に立ち寄ってもらえることを考えて</p>

	<p>いくべきではないかと思う。また、甘地駅周辺のロータリーを進めていく中で、やはり千束から福崎へ抜ける道は、できるだけ早く整備してほしい。この市川が決壊した場合に、どちらにも大きな道路があれば南に抜けることができるので、大事なことではないかと思っている。</p>
委員	<p>気になっていたのがまちの駅。まちの駅に指定してもらうための選定基準があるのかどうか、希望すれば誰でもなれるものなのか、お聞きしたい。</p>
委員	<p>選定基準は特にはない。だから入りたい方は入っていただいて、ぜひ観光協会に足運んでもらって、いろいろ聞いていただきたいと思っている。</p>
委員	<p>個人のことになるので言わないが、私の目から見て、観光協会としてふさわしくないとされる所もあるように感じる。</p>
委員	<p>ふさわしいふさわしくないというのはいろいろあると思うが、支援してくださる方は受け入れている。</p>
副委員長	<p>(閉会あいさつ)</p> <p>4 閉 会</p>